

春の中世古楽コンサート

# 中世ヨーロッパのマリア讃歌



聖ヒルデガルト・フォン・ビンゲン

―聖務日課のアンティフォンと詩篇唱―

賢王アルフォンソ十世編纂聖母マリアの奇跡譚集

―聖母マリアの頌歌集―

マリアのアンティフォン

―サルヴェ・レジーナ 元后あわれみの母―

鋸山の黒いマリアの巡礼歌

―モンセラートの朱い本― 他



出演

ピアッジェール

Ensemble Viatger

中村 会子

歌唱、シトール、ブサルテリウム、  
中世ハープ、テイバーパイプ、フレームドラム

藤川 星

ドウドウク、シュヴィ

2024. 4/21 (日) 13:30開演 (13:00開場)

カトリック東山教会 聖堂 名古屋市千種区唐山町1丁目52

料金 | 一般3000円 学生1500円 小学生以下無料 / 未就学児をお連れの方も歓迎です 全席自由70席

・会場内にガラス張りで演奏が見える子ども室有・車いす用トイレ有

交通 | 地下鉄東山線「東山公園」駅下車 徒歩7分 駐車場はコインパークをご利用下さい

予約・問合せ | QRコードより予約フォームにご記入下さい。またはメール・電話でお問合せ下さい

Eメール [otoniwa.kogaku@gmail.com](mailto:otoniwa.kogaku@gmail.com) 電話番号 070-6512-8182 (中村)

主催 | マリア讃歌演奏会実行委員会・音庭古楽 [Otoniwakogaku.com](http://Otoniwakogaku.com)



中世ヨーロッパ・12世紀を中心に、沢山のマリア讃歌が歌われたのを知っていますか？  
 マリア崇敬の熱は高まり、人々は沢山の美しい言葉でマリアを讃え、加護を求めて歌いました  
 中世ドイツの賢女・聖ヒルデガルトが女子修道者のために書いた聖歌をはじめ、  
 西欧諸国のみならず、アラブや東方アルメニアにも数多く遺されたマリア讃歌たち  
 復元された中世古楽器の音色とともに、教会に響く中世の祈りの歌

＊

## Ensemble Viatger アンサンブル・ピアージェール

中村 会子 *Aiko Nakamura* 歌唱、シトール、中世ハープ、プサルテリウム、他

東京都出身、札幌在住。国立音楽大学音楽教育学科卒・同西洋古楽コース修了。2013年より渡欧を重ね、仏・Ensemble Organum CILMA 歴史的典礼聖歌研修所インターン修了、西・カタルーニャ、リエイダ大学中世音楽専門家認定コース単位取得。中世音楽史、記譜法をM.モリーナ博士、典礼聖歌歌唱法をM.ペレス氏に学ぶ。2014年、札幌にてMMC札幌中世古楽会を立ち上げ、「巡礼地の一夜〜モンセラートの朱い本全曲演奏会」を企画監修。東京大学教養学部、日本ルネサンス音楽普及協会での招聘演奏会に出演、関東を中心に北海道・東海・関西にて、西洋中世音楽の失われた「歌われ方」と「祈りの音楽」をテーマに、解説を添えた演奏会を多数企画監修・出演。MMC札幌中世古楽会「中世古楽を楽しむ会」「Via Ensemble」、ヒルデガルト聖歌アンサンブル「Viriditas」を指導。Ensemble Viatger 主宰、音庭古楽代表。



藤川 星 *Syo Fujikawa* ドウダウク、シュヴィ

幼少期より様々な音楽に触れる環境に育ち、吹奏楽を経て専門学校にてトロンボーンと作編曲を学ぶ。オーケストラ、民族音楽、PA（音響）などの現場を経て2016年頃アルメニア音楽と出会い、ドウダウクとシュヴィの演奏を始める。循環呼吸によるドローン（持続音）奏法”ダム”をテーマに、ドローンを伴う音楽の地域や時代、ジャンルの繋がりを研究。2018年、ピアニスト門光子氏へアルメニア民謡編曲を提供。2022年、京都にてアルメニア音楽アンサンブルに参加。辻康介氏のソルミゼーション講座にてドローン伴奏を務める。2023年現在、中世古楽アンサンブルViatger、ギタリスト欣侘東生氏の音楽研究・演奏ユニット Dolphin Music Lab に所属。

## カトリック東山教会 名古屋市千種区唐山町1丁目52

地下鉄東山線「東山公園」下車、3番出口（エレベーター有）、4番出口より徒歩10分（700m）

